

歯 車

河北町立西里小学校
学校便り
令和3年11月30日

nishizato



第2回 「学校運営協議会」が開催されました

11月22日(月)に第2回目の「学校運営協議会」が開催されました。今回は、初めに子どもたちの学習のようすを参観いただきました。タブレットの活用が進んでいることや、教師と子どもが一体となって課題に取り組んでいる姿をたくさんほめていただいたところです。その後、グループトーク(熟議)を行い、下記の通りそれぞれの立場から活発な意見交換がなされました。

テーマ1 「西里の子どもたちのよさってなんだろう」

- ・学年を越えたかかわりがある ・下の子のめんどうをみる ・あいさつがよい ・優しくゆずり合う
- ・素直で優しく育っている ・人として大切に育てられている ・必要とされる子ばかり
- ・元気がよい ・いきいきしている ・「やってみよう」という雰囲気がある(積極性が見られるようになった)
- ・教師と一体となった学び ・まじめ、表現力 ・転入生がいい刺激になる

「西里地区のよさ」も話題となりました

- ・西里地区の方は、人柄がよい ・人が集まっても、否定的な発言がない
- ・根拠地区は月に数回、二人ずつの見守りの活動がある(ありがとうございます)



テーマ2 「こんな子どもに育てほしい～さらにつけたい力とは～」

- ・目標をしっかりとつ ・「こうなりたい」という夢にまっすぐすすむ
- ・発信力(自信をもって) ・自分を出す ・人の目を気にしない子に
- ・協調性 ・コミュニケーション力 ・優しくゆずり合いながらも、その中で力を出す
- ・ねばり強さ、あきらめない気持ち ・異学年交流を強化し、将来、西里を思い出したときにいい思い出になるように

テーマ2で出てきたのは、「主体性」や「協働性」にかかわる力であり、まさに本校の学校教育目標や新しい学習指導要領で子どもたちに求められる資質・能力と重なるところがあります。来年度の経営方針に生かすと共に、今後も子どもや地域の未来を語り合い、学校と地域が協働して子どもたちを育てていけたらと思います。

読書月間の取り組み

本校では、読書活動を学校経営の重点に位置づけ、11月を「読書月間」として取り組みました。

◇読書まつり(図書委員会の企画)

- ・クロスワードパズル、この本どこだクイズ、読書の木(おすすめ本の紹介)などの企画で図書室に来る子どもたちがたくさんいました。

◇読み聞かせの充実

- ・「移動お話し会」では「べにの里昔語りの会」「ひまわりサークル」の方から来ていただき、お話の世界に浸りました。先生方による読み聞かせも好評でした。

◇親子読書

- ・子どもが親に読んでもらいたい本を選び、読んだ感想を話し合いカードに記入。校内で掲示して紹介し合います。一冊の本を介した家庭内のあたたかい光景が目につかびます。

他にも、おすすめ本10冊読破奨励などの充実した取り組みによりさらに本好きな子が増えたようです。

